

会 議 録

会議名		第４回光が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央６地区まちづくりセンター 電話０４２－７０７－７０４９（直通）		
開催日時		令和７年１０月８日（水） １９時３０分～２０時５０分		
開催場所		光が丘公民館 大会議室		
出席者	委 員	２２人（別紙のとおり）		
	その他	４人（廃棄物政策課長ほか１人、ごみ減量ＰＲ室長、清掃施設課１人）		
	事務局等	３人（中央６地区まちづくりセンター所長ほか２人、地域活力推進員１人）		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	３人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		１ 開 会 ２ あいさつ ３ 議 題 （１）光が丘地区の課題への取組について （２）地域活性化事業交付金について ４ その他 本市の廃棄物行政の現状と課題に関する説明について ５ 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、●は市の発言)

1 開 会

割柏会長が開会

2 あいさつ

割柏会長あいさつ

説明の都合上、順番を入れ替え、4 その他 本市の廃棄物行政の現状と課題に関する説明についてから議事が進行された。

4 その他

本市の廃棄物行政の現状と課題に関する説明について

廃棄物政策課長より相模原市のごみの現状と課題について説明された。

<主な意見・質問等>

○製品プラスチックの一括資源回収について、来年の1月から実施できないか。

⇒●予算の確保が必要であり、工場での対応がまだできない。令和8年10月開始予定である。

○焼却残渣（スラグ）の資源化について、海外へ売ることによって埋め立てる量を減らせるのではないか。

⇒●スラグは国内利用の取組を行っており、市の道路工事にも使用している。

○処分場と言われるとマイナスイメージを受けやすいが、実際には安全でクリーンな場所なので、市もツアープログラム等でもっとアピールをした方が良い。

⇒●愛称の募集や見学会の開催等を通じて最終処分場への理解を深めていただく取組をしてきたところである。

○私たちは内容を理解するだけでなく、周知をしていかなければならない。これも委員の役目である。自治会では研修の開催等を通じて住民へ伝えることをやっていく。

○主婦の目線では、相模原市はとてもしごみが捨てやすいと感じる。他の地域はごみ袋の有料化等をしているため、捨てるごみを減らそうという気持ちになる。相模原市でも参考にしてほしい。また、ごみ袋の表面に減量PRの漫画を描くなどすると、子どもたちが楽しみながら勉強できるので、良いかもしれない。

⇒●ごみの量を減らす取組について、引き続き考えていきたい。

○これまで言われてきたことがずっと「出すごみの量を減らせ」なのが残念に感

じる。先ほど、海外への売却の話もあったが、そういうことをしていかないと問題が解決しない気がする。ごみを分別する意味を理解できていない市民もいるため、ごみを分別することで実際にどれだけ効果があるか、分別の有無によるかかる経費の差等を広報で示していく必要がある。いずれにしても、検討の行きつく先が「出すごみの量を減らせ」では限界があると思う。世界の国々ではごみの減量化以外の取組も積極的なので、市も取り組んでみてはどうか。

⇒○私たちはできることから始めていくべきだと感じる。私たちがまずできることは出すごみの量を減らすことである。

○ここに集まっている人たちは既に意識が高い。このような場で説明するのも大事だが、自治会未加入者や地域のつながりがいない人たちへ伝える方法を考えてほしい。例えばPTAの総会であれば、自治会未加入者も出席される。また、ごみ処理にかかる費用のことも書いてあったが、「このままでは市民税がこれだけ上がる」や「ごみの量を減らせば逆に市民税がこれだけ下がる」など、税金のことを訴えていくと動くかもしれない。生活に直結するような影響がなければ、みんな変わらない気がする。

⇒●自治会未加入者等への周知も非常に大事なことを考えている。PTA向けに話すことも良いと感じた。今回の説明は22地区のまちづくり会議でさせていただくが、それで終わりではないため、続けていく上での参考にさせていただく。

○先日、光が丘公民館で分別の達人養成講座を開催していただいた。意識の高い方が多く参加したと感じているが、麻溝台環境事業所から5人の方が来てくださり、説明もとても分かりやすかった。公民館に限らず、色々なところで講座等を計画していただき、広く知っていただくことが大事だと感じる。

○今回配布された資料は、私たちが活用してもよいとのことなので、こちらでも周知等を図っていきたい。

3 議題

(1) 光が丘地区の課題への取組について

【まちづくり部会の南部会長による報告】

<要旨>

①並木小学校閉校後の跡地利活用案について

まちづくり部会での検討結果として、「地域安全と防災力強化を軸とした多角的な利活用案」を提案したい。具体的には、火災延焼リスク低減、防災拠点強化、地域コミュニティ活性化の3点について跡地を活用して取り組むよう市に要望をしていきたい。

②上溝団地の新コミュニティセンターの運営・管理方法の検討について

まちづくり部会での検討が始まった。運営方法や部屋の活用について色々
案が出てきたところである。現在、参考としてシルバーカフェの運営費用等
について確認中である。部屋の活用については、子育て環境・健全育成部会
の力も借りながら引き続き検討を進めていく。

＜主な意見・質問等＞

特になし。

並木小学校閉校後の跡地利活用案については、担当所管課へ内容をお話した
い。

【子育て環境・健全育成部会の加賀谷部会長による報告】

特になし。

【安全・安心部会の青木部会長による報告】

特になし。

（３）地域活性化事業交付金について

事務局より第４次募集中の申請はなかったこと、令和８年度地域活性化事業交
付金の見直し内容、令和７年度第５次募集のスケジュールについて説明を行った。

＜募集スケジュール（第５次募集）＞

１０月１７日（金） 募集締切り（郵送可、到着分まで）

１０月３１日（金） 第５回まちづくり会議役員会へ報告

１１月 ７日（金） 第５回まちづくり会議へ提案

＜主な意見・質問等＞

特になし。

５ 閉 会

割柏会長が閉会

以 上

光が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	光が丘地区自治会連合会	会長	割 柏 秀 規	出席
2	光が丘地区自治会連合会	副会長	阿 部 俊 夫	出席
3	光が丘地区自治会連合会	副会長	鈴 木 勝 雄	出席
4	光が丘地区自治会連合会	監事	南 雄 二	出席
5	光が丘地区自治会連合会	会計	藤 本 征 志	出席
6	光が丘地区社会福祉協議会	会長	加賀谷 育 子	出席
7	光が丘地区社会福祉協議会	会計	小 山 千 秋	出席
8	光が丘地区民生委員児童委員協議会	会長	石 井 和 子	出席
9	光が丘地区民生委員児童委員協議会	副会長	岸 豊 治	出席
10	光が丘公民館	館長	坂 本 きよか	出席
11	光が丘公民館	青少年指導委員	富 木 美智世	出席
12	陽光台公民館	館長	前 田 進	出席
13	陽光台公民館	体育部長	佐 藤 直 樹	欠席
14	光が丘地区子ども会育成連絡協議会	会長	羽 鳥 亜樹子	出席
15	老人クラブ連合会 (光が丘地区・陽光台地区)	光が丘地区	佐 藤 健 司	出席
16	光が丘地区交通安全母の会	会長	田 中 友 紀	出席
17	交通安全協会 (青葉支部・陽光台支部・光が丘支部)	光が丘支部	安 藤 浩 秋	出席
18	小学校PTA	並木小学校PTA	佐 藤 慶 一	出席
19	中学校PTA	緑が丘中学校PTA	太 田 剛 史	欠席
20	小・中学校長	弥栄中学校校長	古 屋 礼 史	欠席
21	和泉短期大学		吉 田 久仁子	欠席
22	青少年健全育成協議会 (光が丘公民館区・陽光台地区)	光が丘公民館区	岡 見 益 義	欠席
23	防災専門員・防犯指導員	防犯指導員	村 松 映 介	出席
24	避難所運営協議会	光が丘小学校 避難所運営協議会会長	青 木 進 一	出席
25	光が丘地域包括支援センター	センター長	大 谷 尚 功	出席
26	一般社団法人光が丘ふれあいセンター		三 原 祐 子	出席
27	有識者		西 本 敬	出席